

日本語と中国語における使役起動交替

望 月 圭 子

日本語と中国語における使役起動交替

望 月 圭 子

1. はじめに

一つの同じ動詞または動詞の語幹が、自動詞にも他動詞にも用いられる現象は、普遍的現象として、「自他交替」(transitivity alternation)と呼ばれる。自他交替のうち、起動を表す自動詞と使役を表す他動詞が交替する現象は、「使役起動交替」(Causative / Inchoative Alternation)と呼ばれている。本稿の目的は、中国語の使役起動交替(以下、使役交替と略称する)について、日本語との対照のうえで考察し、両語の相違点を明らかにすることにある。

使役交替を起こす典型例としてよく挙げられる break 及び「壊す / 壊れる」に相当する中国語は、‘壊 huai’であるが、現代中国語では、自動詞用法しかなか¹⁾、他動詞として用いようとすると、「軽動詞」(light verb)に近い、抽象的動作が行われたことだけを示す‘弄 nong’を前につけ、複合動詞化して、‘弄壞 nonghuai’としなければ他動詞として機能しない。

- (1) a. 自行車 壊 了。
Zixingche huai le.
自転車 壊れる 完了
自転車が壊れた。
- b. 小孩 {*壊 / 弄壞} 了 自行車。
Xiaohai huai/nonghuai le zixingche.
子供 壊れる / 壊す 完了 自転車
子供が自転車を壊した。

同様の現象が、‘破 po’についてもいえる²⁾。日本語では、「破る / 破れる」という自他交替をみせるが、現代中国語では、自動詞用法のみで、他動詞として機能させるためには、‘弄破 nongpo’と複合動詞化しなければならない。

- (2) a. 褲子 破 了。
kuzi po le.
ズボン 破れる 完了
ズボンが破れた

- b. 小孩 { *破 / 弄破 } 了 褲子.
 Xiaohai po/nongpo le kuzi.
 子供 破れる / 破る 完了 ズボン
 子供がズボンを破った.

日本人中国語学習者は、日本語からの類推から、‘壊 huai’ ‘破 po’ という単音節動詞だけで、自他の対応があると考えがちで、こうした誤用は多く、学習困難点となっている。しかし、中国語では、使役交替を起こす動詞の大部分が、[Action + Resultative State] というスキーマによって構成された複合動詞でなければならないという特徴がある。‘弄 nong’ は、このスキーマの Action を抽象的に表す軽動詞の一種で、このスキーマに適合する複合動詞を形成するうえで、生産性が高い。例えば、‘弄髒 nongzang (汚す), 弄斷 nongduan (断つ), 弄錯 nongcuo (間違う), 弄糟 nongzao (台無しにする)’ 等、後項に形容詞又は自動詞をともなって、他動詞を生産的に作ることができる。また、「ある状態にする」という使役化のみならず、‘弄哭 nongku (泣かせる)’ のように非能格動詞をともなう使役化も可能である。

このように、中国語は、単音節動詞の使役交替は、‘開 kai (開く)’, ‘關 guan (閉じる)’ ‘倒 dao (順序が逆である / 順序を逆にする)’ ‘轉 zhuan (回る / 回す)’ 等を除き、起こりにくいだが、一方では、複合動詞化すると、非常に柔軟な自他交替をみせる。例えば、日本語の漢語動詞「出版する」は、他動詞用法しかないのに対して、中国語の対応する複合動詞‘出版 chuban’ は、自他両用である。これは、中国語の複合動詞の「脱使役化」(decausativization)³⁾ が、対応する日本語の漢語動詞よりも起こり易いことを示す例である。

- (3) a. 研究社出版はやっとあの論文集を出版した。
 b. 研究社 出版社 終於 出版 了 那本 論文集。
 Yanjiushe chubanshe zhongyu chuban le naben lunwenji.
 研究社 出版社 やっと 出版する 完了 あの 論文集
- (4) a. あの論文集がやっと { *出版した / 出版された }。
 b. 那本 論文集 終於 出版 了。
 Naben lunwenji zhongyu chuban le.
 あの 論文集 やっと 出版される 完了

またもう一方で、日本語の漢語動詞では、自他両用であるのに、同形の中国語の複合動詞では、自動詞用法しかないものもある。例えば、「開店する」

は自他両用であるが、対応する中国語‘開店 kaidian’は、自動詞用法しかない。

- (5) a. 彼女は、茶芸館を 開店した。
 b. 她 {*開店 / 開} 了 一間 茶藝館。
 Ta kaidian kai le yijian chayiguan.
 彼女 開店する 開く 完了 一軒の 茶芸館
- (6) a. 公園の隣に、茶芸館が開店した。
 b. 公園 旁邊 有 一間 茶藝館 開店 了。
 Gongyuan pangbian you yijian chayiguan kaidian le.
 公園 隣 ある 一軒の 茶芸館 開店する 完了

これは、中国語の‘開店 kaidian’が、完全に語彙化されておらず、VO構造の動詞句と認識されるため、すでに目的語をもつ動詞句にさらに目的語をつけることができないため、他動詞用法がないことを示す例である。日本語の「開店する」の「開店」は、「店が開く」又は「店を開く」に相当する中国語の統語構造が反映された動詞句で、日本語の統語構造の反映ではないため、完全に語彙化されていて、その語彙的意味から、使役交替をおこすのである。

このような、日本語と中国語間の使役起動交替に関わるずれは、日本人が中国語を学習する場合及び中国語母語話者が日本語を学習する場合において、同じ漢字語彙を共有するだけに、誤用が起こりやすい点である。

以下、使役起動交替に関わる日本語と中国語間の相違がどのような要因でおこるのかを考察してゆきたい。

2. 日本語と中国語の使役交替

2.1 項構造と語彙概念構造

動詞は、その「項構造」(argument structure, 動詞が義務的にとる名詞句(項)の構造の表示)の相違により、他動詞、「非能格自動詞」(unergative verb)及び「非対格自動詞」(unaccusative verb)に三分類される。各タイプの項構造を示すと、以下のようになる。

- | | 外項 | 内項 |
|--------|------------|------|
| (7) a. | 他動詞: (x | <y>) |
| b. | 非能格自動詞: (x | < >) |
| c. | 非対格自動詞: (| <y>) |

y は、動詞と密接な関係をもつ「内項」(internal argument)をしめし、< >

のなかに入れて表示される。x は、動詞との関係が弱い「外項」(external argument)を示し、統語的には主語として具現化する。

自動詞が外項のみをもつ非能格動詞と内項のみをもつ非対格自動詞とに分類されるという主張は、影山(1996: 22-35)で述べられているように、日本語と英語で、さまざまな言語現象において、非対格自動詞の主語が、動詞と密接な関係をもつ内項としての性質を備えていること、即ち統語的には他動詞の目的語と同じ振る舞いをすることを呈示していることから支持される。

さて、影山(1996: 第4章)では、(7c)で表されるような所謂非対格自動詞が、open, break, burn, dry, sink, change, freeze, move, rollのように同形態で他動詞と交替する「能格動詞」と、be, occur, happen, appear, exist, remain, arrive, flourishのように対応する他動詞を欠く「非対格動詞」とに区別されなければならない理由を論じている。また、両者は、統語的な資格としては、いずれも広い意味で「非対格性」即ち、内項しか統語構造に具現化しないという共通性をもつが、その意味構造は、(8)の「語彙概念構造」(Lexical Conceptual Structure)⁴⁾に表されるような相違をもつとしている。

- (8) a. 非対格動詞: be, occur, happen, appear, exist, remain, arrive, flourish 等
 「おのずと然る」自然発生的に生じる事象・状態
 [BECOME [y BE AT-z]]
- b. 能格動詞: open, break, burn, dry, sink, change, freeze, move, roll 等
 「みずから然る」変化対象が自らの性質によって状態変化を被る。
 使役主の捉え方によって他動詞になることもできる。
 [x=y CONTROL [y BECOME [y BE AT-z]]]

中国語において、自然発生的に生じる事象・状態を表す‘發生 fasheng’(発生する)は、(8a)で定義されるような非対格動詞とみなされるが、注意すべき点は、文全体が新情報で眼前の事態をそのまま描写する現象文となる場合、(9a)のように内項が動詞の後におかれ、深層構造で占める目的語の位置のまま留まっていて、一見使役交替とみえるという点である。一方、内項が旧情報として呈示される場合は、(9b)のように、内項は動詞の前、即ち主語の位置にある。

- (9) a. 昨晚 高速公路 上 又 發生 了 重大
 Zuowan gaosugonglu shang you fansheng le zhongda
 昨夜 高速道路 上 また 発生する 完了 重大な
 的 事故.
 de shigu.
 属格 事故
 昨夜高速道路でまた重大事故が発生した.
- b. 和 上次 相同 的 事故 昨晚 又 在 高速公路
 He shangci xiangtong de shigu zuowan you zai gaosugonglu
 と 前回 同じ 属格 事故 昨夜 またで 高速道路
 上 發生 了.
 shang fasheng le.
 上 発生する 完了
 前回と同じ事故が昨夜また高速道路で発生した.

(9a) は、動詞の後の目的語の位置に名詞句が続くため一見他動詞文に見えるが、これは、VS 語順をとる所謂「存現文」であり、動詞の後の位置にある名詞句は、主語として機能する自動詞文である。

本稿では、影山(1996)による非対格動詞と能格動詞の分類に従い、以下、能格動詞を(8b)のように定義し、日本語と中国語の使役起動交替を考察することにする。(8a)のように定義される非対格動詞は、本稿では扱わず、能格動詞及びその対応する他動詞について考察する。

2.2 中国語の他動詞・非能格動詞・能格動詞

次に、中国語における他動詞、非能格動詞、能格動詞について、例文をあげ、各タイプの動詞の語彙概念構造を示そう。

- (10) 使役起動交替を起こさない他動詞
- a. 我 正在 趕 著 寫 一篇 論文.
 Wo zhengzai gan zhe xie yipian lunwen.
 私 継続相 急ぐ 継続相 書く 一本 論文
 私は今、追い込みで論文を一本書いているところだ.
- b. 雨滴 輕輕地 敲 打 著 窗 戶.
 Yudi qingqingdi qiaoda zhe chuanguhu
 雨 軽く 叩く 継続相 窓
 雨が窓を軽く叩いている.

- c. [EVENT x ACT ON y]
 | | |
 我 寫 論文
 雨滴 敲打 窗戶

(11) 非能格動詞

- a. 小孩 輕輕地 哭泣 著。
 Xiaohai qingqingdi kuqi zhe.
 子 供 めそめそと 泣く 継続相
 子供はめそめそと泣いている。

- b. 父親 微微地 笑 著。
 Fuqin weiweidi xiao zhe.
 父 親 すこし 微笑む 継続相
 父はちょっと微笑んでいる。

- c. [EVENT x ACT]
 | |
 小孩 哭泣
 父親 笑

(12) 使役起動交替を起こす ACT ON タイプ他動詞 (a) と同形の能格動詞 (b)

- a. 出版社 終於 出版 了 那本書。
 Chubanshe zhongyu chuban le nabenshu.
 出版社 ついに 出版する 完了 あの本
 出版社はついにあの本を出版した。

- b. 那本書 終於 出版 了。
 Nabenshu zhongyu chuban le.
 あの本 ついに 出版する 完了
 あの本はついに出版された。

- c. [[EVENT x ACT ON y] CAUSE [EVENT BECOME [STATE y
 | | |
 出版社 那本書 那本書
 BE 出版]]]

(13) 使役起動交替を起こす AFFECT タイプ他動詞 (a) と同形の能格動詞 (b)

- a. 昨晚 發生的 那件 事 嚇 了 大家 一跳。
 Zuowan fashengde najian shi xia le dajia yi tiao.
 昨晚 起こった あの できごと 驚かす 完了 皆 一飛び
 昨晚起こったあの出来事は、皆をどきどきと驚かせた。

- b. 大家 都 嚇 了 一跳。
 Dajia dou xia le yi tiao.
 皆は すべて 驚く 完了 一飛び
 皆はどきとした。
- c. [[_{EVENT} x _{AFFECT} ³y] CAUSE [_{EVENT} BECOME [_{STATE} y BE
 昨晚發生的那件事 大家 大家
 嚇一跳]]]

(12) 及び (13) に表されるような使役交替は, (12c) 及び (13c) からわかるように, いずれも, [_{EVENT} x ACT ON y] や [_{EVENT} x AFFECT y] といった上位事象と, [_{EVENT} BECOME [_{STATE} y BE {出版 / 嚇一跳}]] といった下位事象を含み, 上位事象が原因, 下位事象が上位事象によって引き起こされた結果状態を表す, という語彙概念構造をもつ。

2.3 日本語の自他交替と対応する中国語

早津 (1989) は, 日本語の他動詞を「有対他動詞」と「無対他動詞」に分類している。「有対他動詞」とは, 対応する自動詞とペアをなすような他動詞 (e.g. 進む / 進める, 整う / 整える, 切れる / 切る, 折る / 折れる等) のことで, 「無対他動詞」とは, 対応する自動詞が存在しない他動詞 (e.g. 読む, 叩く, 殺す, 食べる, 飲む, 書く, 売る等) のことである。

影山 (1996, 第4章) では, 有対他動詞をさらに二種類に分類している。第一種は, 基本の自動詞を使役化することによって派生される他動詞であり, 第二種は, 基本の他動詞から「反使役化」(anti-causativization, 使役主を変化対象と同定することで自動詞化を行う) 又は「脱使役化」(decausativization, 使役主を意味構造で抑制し統語構造に投射しないことで自動詞化を行う) を通して, 自動詞を派生するような他動詞である。彼の分類を接辞の形態とともにまとめると, 以下の (14) 及び (15) のようになる。

(14) 自動詞から他動詞へ

- a. ‘-e-’: 進む / 進める susum-u / susum-e-ru, 整う / 整える totonou / totonou-e-ru
- b. ‘-as-, -os-’: 飛ぶ / 飛ばす tob-u / tob-as-u, 泣く / 泣かす nak-u / nak-as-u, 乾く / 乾かす kawak-u / kawak-as-u, 枯れる / 枯らす karer-u / kar-as-u

(15) 他動詞から自動詞へ

- a. 「反使役化」(anti-causativization)
 ‘-e-’: 切る / 切れる kir-u / kir-e-ru, 折る / 折れる or-u/or-e-ru
- b. 「脱使役化」(decausativization)
 ‘-ar-’: 詰める / 詰まる tum-er-u/tum-ar-u, 植える / 植わる u-er-u / uw-ar-u

さて、中国語では、自動詞・他動詞を区別する形態的標識がないが、自他交替はどのような手段が用いられるのだろうか。(14)の例について、中国語の対応表現を以下に挙げよう。

(16) 自動詞から他動詞へ

- a. ‘-e-’: 進む「前進」 進める「使～前進」(*弄前進)
 整う「完備」 整える「使～完備」(弄{好/完備})
- b. ‘-as-, -os-’: 飛ぶ「飛翔」 飛ばす「使～飛翔」(*弄飛)
 泣く「哭泣」 泣かす「使～哭泣」(弄哭)

対応する中国語は、「使+(人/物)+動詞」という統語的使役を用いる。あるいは、前出の‘弄 nong’を前項において、他動詞化できる場合‘弄好 nonghao, 弄完備 nongwanbei, 弄哭 nongku⁶⁾’もあるが、これは、後項が結果を表す状態である場合のみ、‘弄 nong’による他動詞化が可能で、動作動詞の場合は、‘弄 nong’による他動詞化は不可能である。これは、‘弄 nong’が、[Action + Resultative State]というスキーマの前項部分を担い、後項部分に、結果状態を表す形容詞/自動詞を組みあわせることによって、初めて他動詞化できるためである。

次に、(15)の他動詞から自動詞を作る日本語の例に対応する中国語をみよう。

(17) 他動詞から自動詞へ

- a. 「反使役化」
 ‘-e-’: 切る「切 qie」 切れる「被 bei～切斷 qieduan」 「斷 duan」
 折る「折 zhe」 折れる「被 bei～折斷 zheduan」 「斷 duan」
- b. 「脱使役化」
 ‘-ar-’: 詰める「装 zhuang」 詰まる「被 bei～裝滿 zhuangman」
 植える「種 zhong」 植わる「被 bei～{種好 zhonghao / 種完 zhongwan}」

対応する中国語は、全て「被+動作主+[Action+Resultative State]型複

合動詞」という形式に対応する。つまり、中国語では、これらの他動詞を自動詞的に扱うためには、統語的な受身構文となる。

もう一点、注意すべきは、受身構文になった場合、主語の結果状態に視点がおかれること、及び「完結性」をもつことが要求されるため、[Action+Resultative State] 型複合動詞としなければならない点である。この現象は、Tai (1984)⁷⁾、荒川 (1981, 1986) でも指摘されているように、中国語の単音節動詞が、必ずしも結果性を含意しないため、結果性及び完結性を表すためには、結果状態を示す‘断 duan’‘満 man’‘好 hao’‘完 wan’といった後項をつけて、複合動詞化しなければならないからである。複合動詞化せずに、動作動詞だけを用いて、受身構文にすると、以下のように非文となる。

- (18) a. *鐵板 被 切 了。
 Tieban bei qie le.
 鉄板 受身標識 切る 完了
 鉄板が切られた。
- b. *樹枝 被 折 了。
 Shuzhi bei zhe le.
 枝 受身標識 折る 完了
 枝が折られた。
- c. *書 被 裝 了。
 Shu bei zhuang le.
 本 受身標識 詰める 完了
 本が詰められた。
- d. *花 被 種 了。
 Hua bei zhong le.
 花 受身標識 植える 完了
 花が植えられた。

中国語の‘切 qie’‘折 zhe’‘裝 zhuang’‘種 zhong’が、動作のみを表し、必ずしも結果性を含まないことは、(19)に示すようなキャンセル文によっても立証される。

- (19) a. 我 切 了 半天的 鐵板, 還是 切 不斷。
 Wo qie le bantiande tieban, haishi qiebuduan.
 私 切る 完了 長い間 鉄板 やはり 切れない
 *私は鉄板を長い間切ったが、やはり切れない。

- b. 我 折 了 半天的 樹枝, 還是 折不 斷.
 Wo zhe le bantiande shuzhi, haishi zhebuduan.
 私 折る 完了 長い間 枝 やはり 折れない
 *私は枝を長い間折ったが、やはり折れない。
- c. 我 裝 了 半天的 茶葉, 還是 裝不 滿.
 Wo zhuang le bantiande chaye, haishi zhuangbuman.
 私 詰める 完了 長い間 お茶 やはり 詰めきれない
 私は長い間お茶を詰めたが、やはり詰めきれない。
- d. 我 種 了 半天的 花, 還是 種不 完.
 Wo zhong le bantiande hua, haishi zhongbuwan.
 私 植える 完了 長い間 花 やはり 植えきれない
 私は長い間花を植えたが、やはり植え切れない。

さて、中国語では、「反使役化」や「脱使役化」が存在しないのかというと、そうではなく、日本語のように、共通の語幹を基にした、豊富な接辞体系による自他の対応がない、というだけである。

(17a) に示されるように、「切れる」「折れる」に対応する中国語の自動詞的表現は、「被 bei」受身構文、または‘断 duan’といった、状態を表す形容詞/自動詞⁸⁾に対応する。しかし、意味的に自然発生的な反使役化の場合、即ち「糸がひとりでに切れた」や「枝がひとりでに折れた」の意味を表すには、中国語では、結果状態を表す形容詞/自動詞によって表すのが自然である⁹⁾。

- (20) a. 線 {自個兒 / 自己} 斷 了.
 Xian ziger / ziji duan le.
 糸 ひとりでに 切れる 完了
 糸がひとりでに切れた。
- b. 樹枝 {自個兒 / 自己} 斷 了.
 Shuzhi ziger / ziji duan le.
 枝 ひとりでに 折れる 完了
 枝がひとりでに折れた。

中国語では、‘切 qie’ ‘折 zhe’ は、あくまでも、動作動詞で、結果性・完結性を含まないため、動作動詞を基に反使役化をおこすことができないと推測される。「反使役化」というよりも、結果状態をそのまま表す別の語である形容詞/自動詞を用いることによって、「反使役化」と同じ効果を得ている。

次に、(17b)に示されるような日本語の「脱使役化」は、中国語では、結果状態を表す後項を付加した複合動詞の他動詞が、脱使役化を起こすことはむずかしいようである。

- (21) a. 書 已經 裝滿 了。
 Shu yijing zhuangman le.
 本 すでに 詰める 完了
 本は、もう {詰めた / ??詰まった}.
- b. 花 已經 種好 了。
 Hua yijing zhonghao le.
 花 すでに 植える 完了
 花は、もう {植えた / ??植わった}.

ここで問題となるのは、(21a, b)が、自動詞文なのか、他動詞の目的語が主題化された主題文なのか、という点である。中国語には、主語・目的語に格標識がないこと、さらに中国語の動詞は、自動詞・他動詞によって形態を変えないというその孤立語的特徴から、脱使役化した自動詞文なのか、目的語が主題化された主題文なのかは、そのままでは判定不能である。よって、(21a, b)の日本語訳は、あえて {詰めた / ??詰まった} 及び {植えた / ??植わった} のように、他動詞と自動詞両方を挙げたが、ネイティブスピーカーの直観では、やはり他動詞の目的語が主題化されたものとしてとらえられるようである。次節では、「自動詞か、それとも他動詞の目的語の主題化か」という問題をめぐって、二つのテストを提案したい。

2.4 自動詞か、他動詞の目的語の主題化か

動詞の自他の形態的区別及び主格・対格の標識をもたない中国語において、自動詞文か、他動詞の目的語が主題化された主題文かを判定するテストは、二つ考えられる。

まず、一つ目のテストは、補文化である。(21a, b)を、主語節として補文化した(22)のような文を考えよう。

- (22) a. [書 已經 {被 裝 滿 / ??裝滿}] 的 消息
 Shu yijing bei zhuangman / zhuangman de xiaoxi
 本 すでに 受身標識 詰める 属格 知らせ
 使 大家 鬆 了 一口氣。
 shi dajia song le yikouqi.
 使役標識 皆 安堵する 完了 一息
 [本がすでに詰められた]という知らせが、皆をほっとさせた。
- b. [花 已經 {被 種 好 / ??種 好}] 的 消息
 Hua yijing bei zhonghao / zhonghao de xiaoxi
 花 すでに 受身標識 植える 属格 知らせ
 使 大家 鬆 了 一口氣。
 shi dajia song le yikouqi.
 使役標識 皆 安堵する 完了 一息
 [花がもう植えられた]という知らせが、皆をほっとさせた。

主題は、主文全体を修飾するため、補文には現れない。よって、(21a, b) がそのままの形で補文化可能であれば、(21a, b) の‘書 shu’‘花 hua’は、主題ではなく、主語となり、(21a, b) はともに自動詞文となり、‘裝滿 zhuangman’‘種好 zhonghao’の脱使役化が可能ということになる。しかし、結果は、(22a, b) からわかるように、補文中においては、‘被 bei’受身構文にしなければならない。即ち、‘裝滿 zhuangman’‘種好 zhonghao’の脱使役化はおこらず、他動詞用法のみということになる。

自動詞文と主題文を区別するもうひとつのテストは、文頭の名詞句を‘有 you ~’不定名詞句に変えるという操作である。前出の(3)(4)が示すように、中国語の‘出版 chuban’は、脱使役化が起こるが、(4b)の‘那本論文集 終於出版了。’が主題文ではなく、自動詞文であることを、‘那本論文集’という定の名詞句を、‘有一本論文集’という不定の名詞句にとりかえることによって立証できる。不定名詞句は、主題にはならないからである。

- (23) 有 一本 論文集 終於 出版 了。
 You yiben lunwenji zhongyu chuban le.
 ある 一冊の 論文集 やっと 出版される 完了
 ある一冊の論文集がやっと出版された。

(23) が適格文であるということは、中国語の他動詞‘出版 chuban’は、脱使役化をうけて、自動詞になる、ということの証明である。興味深いのは、

対応する日本語の漢語動詞「出版する」が他動詞用法のみで、脱使役化を受けない点である。日本語の漢語動詞と、同形の中国語の動詞の自他に関しては、ずれがある場合が多いが、その要因については、稿を改めることにしたい。

3. 日本語・中国語複合動詞と使役交替

3.1 「他動性調和の原則」

影山(1993)は、日本語の複合動詞の形成は、原則として、「他動性調和の原則」が適用する項構造での複合と主張している。「他動性調和の原則」とは、以下のように表示できる。

(24) 他動性調和の原則 (The Transitivity Harmony Principle)

次の3種類の項構造において、異なるタイプの項構造は複合できない。

- a. 他動詞: (x < y >)
- b. 非能格自動詞: (x < >)
- c. 非対格自動詞: (< y >)

項構造において、他動詞と非能格動詞は、ともに外項 x をとるから、同じタイプの項構造とみなされ、同じタイプの項構造をもつ動詞同士は、複合動詞を派生することができる。一方、非対格動詞¹⁰⁾は、内項 y のみをもつので、他動詞及び非能格動詞とは異なるタイプの項構造をもち、他動詞や非能格動詞と組み合わせさせて複合動詞を派生することが出来ない。これが、日本語の多くの複合動詞についてあてはまる他動性調和の原則である。

例えば、「つぶす / つぶれる」を後項にとる場合を考えよう。

- (25) a. 太郎がりんごを[押しつぶした].
 b. 張三 把 蘋果 壓 爛 了.
 Zhangsan ba pingguo ya lan le.
 張三(人名) 前置目的語標識 りんご 押す ぐたぐたになる 完了
 c. *りんごが[押しつぶれた].
 d. 蘋果 壓 爛 了.
 Pingguo ya lan le.
 りんご 押す ぐたぐたになる 完了

(25a) では、「押す + つぶす」は、前項・後項ともに他動詞で、同じ項構造

の合成は、上位事象と下位事象を結び付けるだけであるから、両事象の間の結び付きは、項の同定といった文法的な制限よりむしろ意味のないし認知的な配慮で成り立っている。

中国語の動補動詞は、英語の結果構文に類似し、概念構造の合成によるもので、意味のないし認知的な配慮で成り立っていて、非常に生産的である。よって、完全に語彙化されていない動補動詞や、因果関係が常識から類推しにくい概念構造の合成の場合、ネイティブスピーカーによっては、不適切と判断されることもある。

影山 (1996: 250-252) は、英語で結果二次述語が適切に成り立つ場合は、「働きかけの他動詞 (ACT ON) の場合」、「非能格動詞 (ACT) の場合」「目的語をふせて自動詞的に用いられた他動詞の場合」の三つの場合に分類されるとしている。以下、この三つの場合について、英語の結果構文(各例文の a.)、中国語の対応する動補動詞文(各例文の b.)、対応する動補動詞が使役交替を起こすか否か(各例文の c.)、使役交替が起こらない場合の代替的構文(各例文の d.) をみてゆきたい。

まず、「働きかけの他動詞 (ACT ON)」の場合からみてゆこう。

(32) a. He pushed the door open (John Gardner "Redemption")

b. 他 推開 了 那 扇 門。
Ta tui-kai le na shan men.
彼 押し開ける 完了 あの 類別詞 ドア

c. *那 扇 門 推開 了。
Na shan men tui-kai le.
あの 類別詞 ドア 押し開ける 完了

d. 那 扇 門 被 推開 了。
Na shan men bei tui-kai le.
あの 類別詞 ドア 受身標識 押し開ける 完了

(33) a. He started shaking her awake with one hand (*Close Encounters*)

b. 他 開始 用 一隻 手 搖醒 她。
Ta kaishi yong yizhi shou yao-xing ta.
彼 始める ~で 一本の 手 揺り起こす 彼女

c. *她 搖醒 了。
Ta yao-xing le.
彼女 揺り起こす 完了

- d. 她 被 他 用 一隻 手 給 搖醒
 Ta bei ta yong yizhi shou gei yaoxing
 彼女 受身標識 彼 ~で 一本の 手 受身標識 揺り起こす
 了.
 le
 完了
- (34) a. They watered the tulips flat. (Carrier & Randall 1992)
 b. 他們 把 那些 鬱金香 都 澆
 Tamen ba naxie yujinxiang dou jiao-
 彼ら 前置目的語標識 あの(複数) チューリップ 皆 水を
 平 了.
 ping le.
 やる / 平らになる 完了
 c. *那些 鬱金香 澆平 了.
 Naxie yujinxiang jiao-ping le.
 あの(複数) チューリップ 水をやる / 平らになる 完了
 d. 那些 鬱金香 都 被 他們 給 澆
 Naxie yujinxiang dou bei tamen gei jiao-
 あの(複数) チューリップ 皆 受身標識 彼ら 受身標識 水を
 平 了.
 ping le.
 やる / 平らになる 完了
- (35) a. He shot the bear dead.
 b. 他 (用 槍) 射死 了 那 隻 熊.
 Ta yong qiang she-si le na zhi xiong.
 彼 ~で ピストル 撃つ / 死ぬ 完了 あの 類別詞 熊
 c. *那 隻 熊 射死 了.
 Na zhi xiong she-si le.
 あの 類別詞 熊 撃つ / 死ぬ 完了
 d. 那 隻 熊 被 他 (用 槍)
 Na zhi xiong bei ta yong qiang
 あの 類別詞 熊 受身標識 彼 (~で ピストル)
 射死 了.
 she-si le.
 撃つ / 死ぬ 完了

(32)~(35) の各例からわかることは、まず、中国語では、英語の一次述語

と結果二次述語とが複合動詞化されて, '推開 tuikai, 搖醒 yaoxing, 澆平 jiaoping, 射死 shesi' といった動補動詞が派生することである. '澆平 jiaoping' は, 語彙化されておらず, 多くのネイティブスピーカーには, 初めて聞く複合動詞であろうが, 次の語彙概念構造から容易にその意味が類推できるため, 容認可能である.

- (36) [x ACT ON y] CAUSE [BECOME [BE AT- z]]
- | | | |
|------|--------|-------|
| | | |
| 澆 | 鬱金香 | 平 |
| 水をやる | チューリップ | 平らな状態 |

もう一つ興味深い点は, 中国語の複合動詞で, 働きかけ動詞が前項にある(32)~(35)の場合は, いずれも他動詞で, 脱使役化がおこらない, 即ち使役交替がおこらない, という点である. 自動詞的に表現するためには, 各 d 文のように, 統語的に, 受身構文を用いなければならない. この現象は, 次の「非能格動詞 (ACT)」が前項にくる動補動詞が使役交替をおこすのと, 対照的である.

影山 (1986: 251) が「非能格動詞 (ACT)」として分類している英語の結果構文と対応する中国語を同様にみよう.

- (37) a. Dora shouted herself hoarse. (Levin & Rappaport Hovav 1995: 35)
- b. 阿桃 喊 啞 了 自己的 嗓子.
Atao han-ya le zijide sangzi.
Atao 叫ぶ / 喉がかれる 完了 自分の 喉
- c. 阿桃的 嗓子 喊 啞 了.
Atao-de sangzi han-ya le.
Atao 属格 喉 叫ぶ / 喉がかれる 完了
- (38) a. I (locked myself in my room and) cried my eyes out. (Allsop "Summer-blue Eyes")
- b. 我 哭 腫 了 雙 眼.
wo ku-zhong le shuangyan.
私 泣く / 腫れる 完了 両眼
- c. 我 的 雙眼 哭腫 了.
wo de shuangyan ku-zhong le.
私 属格 両眼 泣く / 腫れる 完了

- (39) a. Sleep your wrinkles away.
 b. 她 睡 沒 了 皺 紋.
 Ta shui-meì le zhouwen.
 彼女 眠る / なくなる 完了 しわ
 c. 她 的 皺 紋 睡 沒 了.
 Ta de zhouwen shui-meì le.
 彼女 属格 しわ 眠る / なくなる 完了

(37)~(39) は, (39b) の他動詞用法がいくらか不自然ではあるものの, 全て反使役化による使役交替がおこる. 使役交替が起こる要因は, (37)~(39) の例では, 状態変化をうける対象が, すべて主文の主語の身体部分(喉, 目, しわ)であることが考えられる. 同じ非能格動詞が前項にくる場合でも, 状態変化を受ける対象が, 主文の主語の身体部分でない場合は (40)~(41) にみられるように, 脱使役化がおこらない.

- (40) a. He ran his Nikes threadbare. (Carrier & Randall 1992)
 b. 他 跑 破 了 那 雙 球鞋.
 Ta pao-po le na shuang qiuxie.
 彼女 走る / 破れる 完了 あの 類別詞 運動靴
 c. *那 雙 球鞋 跑破 了.
 Na shuang qiuxie pao-po le.
 あの 類別詞 運動靴 走る / 破れる 完了
 d. 那 雙 球鞋 被 (他) 跑破 了.
 Na shuang qiuxie bei ta pao-po le.
 あの 類別詞 運動靴 受身標識 彼 走る / 破れる 完了
- (41) a. The dog barked them awake. (Levin & Rappaport Hovov 1995: 36)
 b. 狗 吠醒 了 他們.
 Gou fei-xing le tamen.
 犬 吠える / 起きる 完了 彼ら
 c. *他們 吠醒 了.
 Tamen fei-xing le.
 彼ら 吠える / 起きる 完了
 d. 他們 被 (狗) 吠醒 了.
 Tamen bei gou fei-xing le.
 彼ら 受身標識 犬 吠える / 起きる 完了

また、第三に、「目的語をふせて自動詞的に用いられた他動詞」の場合について、一例だけみよう。

- (42) a. They drank the teapot dry. (Levin & Rappaport Hovov 1995: 37)
- b. 他們 喝乾 了 整 壺 茶。
Tamen he-gan le zheng hu cha.
彼ら 飲む / 乾く 完了 全ての 急須の 茶
- c. *整 壺 茶 喝乾 了。
Zheng hu cha he-gan le.
全ての 急須 茶 飲む / 乾く 完了
- d. 整 壺 茶 被 (他們) 喝乾 了。
Zheng hu cha bei (tamen) he-gan le.
全ての 急須 茶 受身標識 (彼ら) 飲む / 乾く 完了

(42) でも、日本語では他動性調和の原則から決して許されないような動補動詞「喝乾」が派生可能である。しかし、脱使役化は、許されない。

以上の観察をまとめると、次のようになる。

1. 英語の結果構文と中国語の動補動詞は、ともに語彙概念構造で合成され、非常に生産的である。中国語の動補動詞の派生は、日本語の複合動詞とは異なり、項構造の制限をうけない。
2. 中国語の動補動詞の使役交替は、前項が主語に動作主を要求する動作動詞 (ACT ON 他動詞又は ACT 非能格動詞) である場合、主語と目的語の間に身体関係がある場合を除き、反使役化・脱使役化がおこらず、他動詞用法しかない。これは、影山 (1996: 192) が指摘するように、日本語の複合動詞が、前項に動作主を要求するような動作 / 手段がくる場合には、自動詞化できない、というのと同様である。即ち、前項に動作主を要求する動作動詞がある場合、後項の結果状態へ視点がシフトできず、自動詞化が成り立たないのである。

4. 結 び

以上の考察を要約すると、以下のようになる。

1. 日本語は、自他対応をつくるための豊富な接辞体系をもつが、中国語には、自他の形態的区別や自他対応をつくるための接辞体系がなく、[Action + Resultative State] という式型の複合動詞化により、他動詞用法を派生す

ることが多い。また、日本語の自他対応ほど柔軟ではなく、受身構文や使役構文といった統語的操作によってしか表現できない場合も多い。

2. 日本語の複合動詞は、項構造レベルで形成され、他動性調和の原則に従い、使役交替を起こさない場合がほとんどであるが、中国語の複合動詞は、英語の結果構文と類似し、語彙概念構造レベルで形成され、生産性が高い。また、項構造の制約をうけないので、使役交替が柔軟に起こる場合がある。

3. 中国語の動補動詞の使役交替は、前項に動作主を要求するような動作動詞が来る場合、他動詞用法のみで、自動詞化がおこらない。但し、例外として、状態変化を起こす目的語が主語の身体部分である場合は、反使役化が可能である。

本稿は、日本語の視点から、中国語の使役交替について考察した初歩的研究である。本稿で扱えなかった問題点として、中国語の複合動詞の使役交替についての、前項及び後項動詞の詳細な分析が挙げられる。また、本稿の冒頭で述べたように、同形の動詞が、日中語で、使役交替の振舞が異なる場合 (e.g. [v_i 出版する]—[v_i/v_t 出版 chuban], [v_i/v_t 開店する]—[v_t 開店 kaidian], [v_i/v_t 乾燥する]—[A/v_i 乾燥 ganzao] 等)が多くみられるが、果たしてどのような要因でこうした相違が起こるのかも、今後の課題として残したい。

注

- 1) 徐 (2001) は、‘壞 huai’ は、先秦時代においては、自他両用で、自動詞と他動詞の用法がほぼ同率で出現していたが、両漢から「動補動詞」(前項が動作、後項が動作の結果状態を表す複合動詞)の形成期以降は、後項に置かれることが多くなり、自動詞化したと述べている。現代中国語においても、文語的慣用表現で、次のような他動詞用法がある。

你 壞 了 我 的 人 生 大 事。
 Ni huai le wo de rensheng dashi.
 あなた 壊す 完了 私 属格 人生 重要事
 あなたは私の人生の重要事を壊してしまった。

中国語における自他交替を考えると、歴史的変遷という視点は不可欠であるが、本稿では現代中国語の現象だけを扱うことにする。

- 2) 徐 (2001) によれば、‘破 po’ は、先秦時代においては、‘殺 sha’ ‘斷 duan’ と同様、典型的な他動詞であったが、動補動詞の形成期以降は、後項に置かれることが多くなり、自動詞化していったと述べている。
- 3) 影山 (1996: 184,194) によれば、「脱使役化」(decausativization) とは、「動作

主を隠すこと、即ち、使役主を意味構造で抑制し統語構造に投射しないことで自動詞化を行う」ことである。影山によれば、日本語では、自動詞化接辞 '-ar-' が、脱使役化を担い、「植 w-ar-u: 公園には様々な種類の木が植わっていた」「掛 k-ar-u: 壁にはピカソの絵が掛かっていた」等の例が挙げられる。影山は、英語には脱使役化が存在しないと述べているが、中国語にも、(3b) から (4b) へと表されるような脱使役化が存在する。

- 4) 語彙概念構造とは、影山 (1996: 第2章) によれば、動詞語彙がそのタイプによって持つ基本的な意味の骨ぐみを提供するスキーマ(式型)である。彼は、BE (状態), AT (位置), ACT (ON) (活動, ON がある場合は、他動的), BECOME (起動), CAUSE (使役), CONTROL (状態変化を直接的に左右する) といった「意味述語」(semantic predicate) を用いて動詞の語彙概念構造を表示している。
- 5) 原因である出来事が「驚く」という心理的作用を引き起こす場合、直接的作用ではないため、ACT ON ではなく、AFFECT (影響を及ぼす) という作用性がより弱い意味述語を用いることにする。
- 6) 「哭」は、ここでは、状態動詞として捉えられるため、「弄哭」という他動詞が形成される。
- 7) 日本語の「殺す」も、英語の 'kill' も、対象の死を必ず含意するのに対し、Tai (1984: 291) では、中国語の「殺 sha」は、対象が死んだことを必ずしも含意しないとして、a 文を挙げている。

a. 張三殺了李四兩次, 李四都沒死。

しかし、「殺死 shasi」のように、結果状態を表す後項をつけて複合動詞化すると、キャンセル文は成立しない。

b. 張三殺死了李四兩次, 李四都沒死。

- 8) 中国語では、形容詞を、状態を表す自動詞と区別することは、形態上の区別もなく、むずかしい。
- 9) 同僚の三宅登之氏は、「切断」も、自動詞用法があるのではないかと、以下のようなインターネットからの用例を提供してくださった。

(小玲家新居中裝的就是這樣的電路。搬家後, 她看到牆上的電源插孔是三線的, 為了安裝電視機, 她買了一個插銷板, 插在牆上的一個三線插孔中, 然後把電視機的插頭插在插銷板上的插孔內)

但是, 接通電視機的電源時, 室內所有插座全都斷電, 表明電路自動切斷了。

(しかし, テレビの電源が入ったとたん, 室内のすべてのコンセントに電気が入らなくなり, それは, 電気回路が自動的に {切れた / 切斷された} ということを意味していた)

到配電箱一看, 果然是“掉閘”(總開關自動切斷)了。

(配電盤を見てみると, なんと“ブレーカー落ち”(即ち, 総スイッチが自動的

に {切れる / 切断する} こと)だった)

(http://www.k12.com.cn:8080/teacher.sub_edu/physics/doc/no9/jsyd/10zx.doc)

この場合、「切断」は、確かに自動詞用法であるが、意味的には「自ら切れる性質をもつ」という「反使役化」ではなく、意図的動作主を隠す「脱使役化」である。というのも、一定の電流量を超えるとブレーカーが落ちるというのは、自然現象ではなく、あらかじめ動作主が意図的にセットしている構造であるからである。また、使われている副詞「自動 zidong」も、「自ら、ひとりでに」という自然発生的な副詞「自己 ziji」や「自個兒 ziger」とは異なり、自然発生的な意味を必ずしももたないので、「反使役化」とはとれない。この例で、「自動 zidong」を「自己 ziji」「自個兒 ziger」に変えると不自然となる。

a. 電路 {自動 / 自己 / 自個兒} 切断了。

さらに注意すべき点は、対応する日本語の漢語動詞「切断する」も、基本は他動詞であるが、脱使役化が可能ではないか、という点である。

b. 電気回路が自動的に {切断された / 切断した}。

ネイティブスピーカーによって判断は異なるが、少なくとも筆者の語感では、b文では、「切断する」を自動詞用法に用いても適切である。

接辞により自動詞か他動詞かが明確に決まる和語動詞とは異なり、自他の形態的区別がつかない漢語動詞の場合は、自他の判定にかなりの柔軟性がある。これは、自他の形態的区別がない中国語動詞についても、使役交替を起こす語彙概念構造さえあれば、自他の判定に柔軟性があるのと同様である。

- 10) ここでいうところの「非対格動詞」は、(8a)で定義される「おのずと然る」タイプの非能格動詞ではなく、内項だけが要求される項構造をもつ動詞を総称している。実際には、(8)で定義される非対格動詞及び「みずから然る」能格動詞両方を含んでいる。

参考文献

- 荒川清秀 1981 「語彙概念構造と動詞複合動詞」『中国語学』245, 32-41. 日本中国語学会.
- 荒川清秀 1986 「中国語にみられるいくつかのカテゴリー」『愛知大学文学会文学論叢』67, 1-25.
- Carrier, Jill and Janet Randall. 1992. "The Argument Structure and Syntactic Structure of Resultatives", *Linguistic Inquiry* 23, 173-234.
- 影山太郎 1993 『文法と語形成』ひつじ書房.
- 影山太郎 1996 『動詞意味論—言語と認知の接点』くろしお出版.
- 早津恵美子 1989 「有対他動詞と無対他動詞の違いについて—意味的な特徴を中心に—」『言語研究』95 日本言語学会.
- 丸田忠雄 1998 『使役動詞のアナトミー—語彙的使役動詞の語彙概念構造』松柏社.

- 丸田忠雄・須賀一好(編) 2000 『日英語の自他の交替』 ひつじ書房.
- 望月圭子 1990a 「日中両語の結果を表す複合動詞」 『東京外国語大学論集』 第 40 号
- 望月圭子 1990b 「動補動詞の形成」 『中国語学』 237. 日本中国語学会.
- Levin, Beth and Malka Rappaport Hovav. 1995. *Unaccusativity: At the Syntax-Lexical Semantics Interface*. MIT Press.
- Tai, James. 1984. "Verbs and Times in Chinese: Vendler's Four Categories," *Papers from the Parasession on Lexical Semantics*, 289-96. Chicago Linguistic Society.
- Tang, Ting-Chi 2000. "On the Relation Between Word-Syntax and Sentence-Syntax: Case Study in Chinese Compound Verbs" *Papers on Chinese Morphology* 台北: 金字塔出版社.
- 湯廷池 2000 「漢語複合動詞的使動與起動交替」 『第七屆中國境內語言暨語言學國際討論論文集』 台湾國立中正大學語學研究所.
- 徐丹 2001 「從動補結構的形成看語意對句法結構的影響」 『語文研究』 第 2 期: 5-12.